

企業総合補償保険のおすすめ



© JAPAN-DA

店舗総合保険へご加入の皆さま、補償内容はご希望どおりになっていますか？

貴社の財産を万一の災害からお守りするため、全ての財産を1証券でカバーできる便利なオールリスク型商品をおすすめします！！

企業総合補償保険の5つの特長をご説明します！！

1. 充実した補償内容

企業総合補償保険は、企業を取り巻くリスクのほとんどをカバーします。さらに、必要に応じて補償の着脱が可能です。

〈企業総合補償保険と店舗総合保険の補償内容の比較〉

主なお支払事由	保険の種類	企業総合補償保険 (注1)	店舗総合保険
①火災、落雷、破裂・爆発		○	○
②風災・雹災・雪災		○ (注2)	○ (注3)
③水災		○ (注4)	△ (注5)
④電氣的・機械的事故		○ (注4)	×
⑤車両・航空機の衝突			○
⑥給排水設備等の事故による水濡れ		○ (注4)	○
⑦騒擾			○
⑧外部からの物体の落下・飛来			○
⑨盗難		○ (注4)	△ (注6)
⑩上記以外の不測かつ突発的な事故		○ (注4)	×

(注1) ①は必須、②～⑩までは選択可能です。(⑤～⑩は、⑤～⑦、⑤～⑨、⑤～⑩のいずれかの引受けとなります。)

(注2) 自己負担額を適用しないことも可能です。

(注3) 損害額が20万円に満たない場合は、お支払いの対象となりません。

(注4) 標準自己負担額未満で自己負担額を設定することも可能です。

(注5) 損害の状況により、お支払いの対象とならない場合があります。

(注6) 盗難によって、商品・製品等(注7)に生じた損害はお支払いの対象となりません。

(注7) 商品・製品等とは、商品、原料、材料、仕掛品、半製品、製品、副産物または副資材をいいます。

2. 水災は実損払

企業総合補償保険では、損害状況に関わらず、「実損払」で保険金をお支払いします。店舗総合保険の水害保険金は、実損払ではないため、台風・豪雨等による洪水・高潮・土砂崩れ等に対し十分に補償されない可能性があります。

〈企業総合補償保険と店舗総合保険の水災補償の違い〉

	保険金を支払う場合における損害の状況	保険金の算出方法	
		建物	設備・什器／商品・製品
企業総合補償保険	損害の程度に関わらず	(損害額－自己負担額) × 100% (注1)	
店舗総合保険	損害額が保険価額の30%以上	損害額 × 70%	
	床上浸水または地盤面から45cm超の浸水	①保険金額 × 10% (注2) (1事故1敷地内200万円限度)	③床上浸水または地盤面から45cm超の浸水の場合 保険金額 × 5% (注2) (注3) (1事故1敷地内100万円限度)
	損害額が保険価額の15%未満	②保険金額 × 5% (注2) (注3) (1事故1敷地内100万円限度)	

※保険価額と保険金額が同額であることを前提としています。

(注1) 支払限度額を設定した場合は、損害保険金と支払限度額のいずれか低い方を上限にお支払いします。

(注2) ①および②・③の保険金が同時に支払われる場合、保険金の合計額は、1事故1敷地内につき、200万円が限度となります。

(注3) ②・③の保険金が同時に支払われる場合、保険金の合計額は、1事故1敷地内につき、100万円が限度となります。

3. 再調達価額(注)でお引受け

罹災時に支払われる保険金で罹災物件と同等の物件を取得することが出来ます。

(注) 保険の対象と同一の構造、質、用途、規模、型、能力の物を再築または再取得するのに必要な額をいいます。

4. 屋外設備・装置の引受けが可能

店舗総合保険では屋外設備・装置は引受対象外ですが、企業総合補償保険は、屋外設備・装置も含め、1証券でのお引受けが可能です。

5. 柔軟な保険設計が可能

複数敷地内に所在する多数の物件を1証券でお引き受けする便利な契約方法も可能なほか、支払限度額や自己負担額を柔軟に設計できます。

●このチラシは概要を説明したものです。さらに詳しい内容につきましては、「普通保険約款および特約条項」、「パンフレット」、「重要事項等説明書」等でご確認ください。また、ご不明な点については、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

●ご契約に際しては、重要事項等説明書を必ずお読みください。詳しい内容につきましては、取扱代理店または損保ジャパンまでお問い合わせください。

 損害保険ジャパン株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
 <公式ウェブサイト> <https://www.sompo-japan.co.jp/contact/>

お問い合わせ先